

平成 2 9 年 度

地域政策科学研究科 (後期二次)

外国人留学生特別入試

## 小 論 文

時 間 1 2 0 分

(午前10:00~12:00)

---

注 意 事 項

---

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、この表紙を除いて 3 枚です。  
印刷不鮮明の箇所などがあれば、監督者に申し出て下さい。
3. 解答は、別紙の解答用紙に横書きで記入して下さい。
4. この問題冊子とは別に、解答用紙 1 枚と下書き用紙 1 枚が配布されています。  
解答用紙の指定欄には受験番号を必ず記入して下さい。
5. 試験終了の合図とともに、ただちに、筆記用具を机の上に置いて下さい。
6. 解答用紙は持ち帰らないで下さい。

I Aの文章は、2016年9月20日付『毎日新聞』の「記者の目 『貧困』女子学生バッシング」という記事です。

この文章を踏まえて、あなた自身の考えを600字以内で述べなさい。

II Bの文章は、2016年9月18日付『毎日新聞』の「時代の風 児童虐待なくすには」という記事です。

この文章を踏まえて、あなた自身の考えを600字以内で述べなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができませんので  
ご了承願います

この数年にわたって、児童虐待の件数はほとんど増えている。2005年度には3万4472件だったのが、15年度には10万3260件になった。身体的虐待、心理的虐待、性的虐待と、カテゴリーはいろいろあるが、いずれも子どもが親を含む養育者からさまざまな被害を受ける事態である。実際に「児童虐待」の発生頻度が増えているのか、それとも、以前は見逃されてきたものに対し、人々の意識が変化して通報が増えたのか？ どうもそれは後者であるらしい。子どもが虐待死することをずっと積極的に防がねばというところで、以前よりもさまざまなところが介入するようになった。その結果、一般の人々からの通報も増えているのだらう。

しかし、そもそも、なぜ

## 児童虐待なくすには

親を含む養育者が子どもを虐待するの？ 理念的には、養育者は子どもを愛し、子どもの福祉のために最善をつくさねばならない。虐待するなどもってのほかである。しかし、科学的に見れば、いつもそううまくはいかない理由が存在する。そこを理解すべきだと私は思う。

と暮らしているから、実母・実父以外の3割強というのは非常に大きい。子どもは、養育者から愛され、親との福祉のために最善をつくさねばならない。虐待するなどもってのほかである。しかし、科学的に見れば、いつもそううまくはいかない理由が存在する。そこを理解すべきだと私は思う。

と暮らしているから、実母・実父以外の3割強というのは非常に大きい。子どもは、養育者から愛され、親との福祉のために最善をつくさねばならない。虐待するなどもってのほかである。しかし、科学的に見れば、いつもそううまくはいかない理由が存在する。そこを理解すべきだと私は思う。

と暮らしているから、実母・実父以外の3割強というのは非常に大きい。子どもは、養育者から愛され、親との福祉のために最善をつくさねばならない。虐待するなどもってのほかである。しかし、科学的に見れば、いつもそううまくはいかない理由が存在する。そこを理解すべきだと私は思う。

と暮らしているから、実母・実父以外の3割強というのは非常に大きい。子どもは、養育者から愛され、親との福祉のために最善をつくさねばならない。虐待するなどもってのほかである。しかし、科学的に見れば、いつもそううまくはいかない理由が存在する。そこを理解すべきだと私は思う。

と暮らしているから、実母・実父以外の3割強というのは非常に大きい。子どもは、養育者から愛され、親との福祉のために最善をつくさねばならない。虐待するなどもってのほかである。しかし、科学的に見れば、いつもそううまくはいかない理由が存在する。そこを理解すべきだと私は思う。

# 「共同繁殖」社会全体で

子どもを虐待する大人の多くは「親」である。実母や実父が虐待者の中に占める割合は、たいてい6、7割だ。あとの3割強は、継父・継母、養父・養母、実父または実母の新しいパートナーである。実の親が多いと思われるかもしれないが、子どもは普通、実の親



—望月亮—撮影

が高まるということだ。進化生物学的に言えば、人間は一生の間に複数回の繁殖が可能で動物である。特に若い親には、将来の繁殖のチャンスがまだある。職がない、貧困、自身が病気などの理由で、現在の子育ての状況があまりうまくないと親を感じる時、親に

は現在の子育てをやめて、次のチャンスに懸けるといふオプションがある。若い母親に新しいパートナーができた時、実母自身が虐待を行うことがある。子どもは新しい彼氏になつかない。彼氏も子どもを好きにならない。彼女にしてみれば、以前のパートナーとの子どもはなかったことにして、今の彼氏との将来の繁殖に懸けたくなる。もちろん、これは親の勝手な欲望だが、動物としてそういう欲望は存在する。

最も虐待の対象になりやすい年齢は1歳未満で、虐待を引き起こした原因の多くは「泣きやまない」ことだ。子どもの脳は未成熟なので、大人と同じように世界を感じてはいない。何が怖いか、気に入らないのか、大人には分からないことが必須である。